

英語チャレンジテスト（3年生）について

新しい福岡の教育計画では「アクティブイングリッシュ推進事業」として英語教育が推進され、今年度から中学3年生を対象としています。福岡市のめざす英語力を、中学3年生で英検3級程度以上が50%以上と定め、英語チャレンジテストが実施されております。昨年に比べて福岡市全体では、3級相当レベルの割合が下がっています。本校の3年生においては、3級相当レベルの生徒の割合は福岡市の平均を上回っています。詳細は下表の通りです。

<英検相当レベル別割合>

3年生	英検相当 レベル	3級以上相当 レベル	4級相当 レベル	5級相当 レベル	5級受検相当 レベル
	本校		65.1%	25.5%	9.4%
福岡市 (H29)		54.0% (66.2%)	31.3% (22.8%)	14.3% (10.6%)	0.5% (0.4%)

福岡市が目指す「英検3級相当レベル以上が50%以上」という目標を達成しています。また、スプリングコンテストにおいて、それぞれが目標を定めて取り組んでいます。また、授業で行ったスピーチでは、全員がスピーチ原稿を作成し、スピーチを行うことができました。

<3年生分野別正答率>

	語彙	読解	リスニング
本校	81.7%	81.3%	80.2%
福岡市 (H29)	78.6% (86.5%)	75.4% (75.6%)	76.6% (79.0%)

どの分野においても福岡市の平均を上回っていますが、本校3年生は「リスニング」に課題があることがわかりました。今後の授業改善、課題への取組として、ネイティブスピーカーの活用を推進することで、聞く力を伸ばす課題をたくさん取り入れ、積極的に聞き取ろうとする意欲を養っていきます。

また、ある程度の分量の英文を読む力をつけるために、解答時間を設けた長文読解問題や簡単な英作文に取り組みます。